



054-368-7556

aiteru-cl.jimdofree.com

静岡県静岡市清水区中之郷1丁目
1-16

ビジョン

急速に進む高齢化社会の中で、在宅医療の専門機関として多業種との連携を大切に、患者さんの尊厳ある生活を支援することで地域医療インフラに貢献します。

在宅医療専門の中之郷クリニック（静岡）では医師募集中。常勤医5名の24時間365日体制、緩和ケアに強い多職種連携とICT共有で質の高いチーム医療を実現。ゆとりある訪問スケジュールでワークライフバランス良好。外来併診可・見学歓迎—地域で患者と家族を支える仲間を求めています（2024年9月取材：高木航医師パート抜粋）。

「出しゃばらない医療」医師が白衣を脱ぎ、患者の人生に寄り添う

高木先生から見た中之郷クリニックの特長を教えてください。

まず、非常に働きやすい環境です。事務スタッフがスケジュールを柔軟に組んでくれるので、一件一件の訪問にしっかり時間をかけられますし、緊急の往診にも対応できる余力が生まれます。子どもの学校行事などにも参加できており、ワークライフバランスは格段に向上しました。



在宅医療の現場で、高木先生が特に意識されていることは何ですか？

「自分が出しゃばらないこと」です。チーム医療において、医師の一言は非常に重みを持ちます。私が先に意見を言ってしまうと、他の職種の方が意見を言いにくくなってしまいます。ですから、まずは看護師さんやご家族の話をじっくり聞き、チーム全体の意見を尊重することを常に心がけています。

なぜ「医師が出しゃばらない」ことが重要なのでしょうか？

在宅医療の主役は、あくまで患者さんとその生活だからです。私たちの役目は、その生活がより豊かになるように、専門家として選択肢を提示し、サポートすること。医療的な正しさだけを押し付けるのではなく、患者さんの価値観と私たちの提案をすり合わせていくプロセスが不可欠です。

チーム医療を実践する上で、大切にしていることはありますか？

齊藤さんも話していましたが、やはり情報共有とコミュニケーションです。多職種で一人の患者さんを支えるには、全員が同じ方向を向いている必要があります。そのためには、日々の細かな情報交換と、職種を超えた信頼関係の構築が欠かせません。



普段の患者さんとの関わりの中で、どのようなことを意識されていますか？

患者さんのお宅に上がらせていただくのですから、こちらも一人の人間として接することを大切にしています。病気の話だけでなく、世間話をしたり、時には一緒に笑ったり。そうした関わりの中で生まれる信頼関係がより良い医療に繋がると信じています。白衣を着ていないのもその表れかもしれません。

「家で過ごしたい」その想いを支える選択肢がクリニックにある

今後の中之郷クリニックの展望や、高木先生の夢についてお聞かせください。

クリニックとしては、現在のスタイルを継続していくことが第一です。個人的には、このフットワークの軽さをいつまで維持できるか、という挑戦もありますね。ただ、それ以上に、新しい仲間を増やし、私たちが培ってきた「中之郷クリニックの文化」を次の世代に繋いでいきたいという思いが強いです。



どのような仲間と一緒に働きたいですか？

私が見学で感じたように、「なんだか楽しそうだな」と直感的に思ってくれる人がいいですね。そして、患者さんの家にずっと溶け込み、その人や家族の物語と一緒に紡いでいけるような、そんな温かさを持った方と一緒に働きたいです。

入職を決められる前に、クリニックを見学されたそうですが、その時の印象はいかがでしたか？

はい、1日同行させていただきました。その時に感じたのは、とにかく「楽しそう」だということでした。同行させていただいた先生が、患者さんのお宅にずっと自然に入っていき、一人の人間として世間話をしながら心の距離を縮めていく。その姿がとてもハートフルで、私が外科医として抱えていたもどかしさの答えがここにある、私がやりたかった医療はこれだと直感しました。その良い意味での「ゆるやかさ」と「温かさ」が入職の決め手になりましたね。

働きやすさの面では、病院時代と比べていかがですか？

格段に働きやすいです。先日も休みをもらって、家族で千葉や長野まで足を延ばしました。子どもの学校行事にも問題なく参加できます。これは外科医時代には考えられなかったことですね。オンとオフをしっかり切り替えられるからこそ、日々の診療に集中できるのだと思います。



最後に、在宅医療に興味を持つ医師や地域の方々へメッセージをお願いします。

もしあなたが今の働き方に疑問を感じていたり、もっと患者さんと深く関わる医療がしたいと思っているなら、ここは最高の場所だと思います。医師としての新しいやりがいを見つけ、人間らしく働き、プライベートも大切にできます。そして地域の方々には、「在宅医療」は特別なものではなく、皆さんの暮らしを支える身近な選択肢の一つだと知っていただきたいです。何か困ったことがあれば、いつでも気軽に私たちを頼ってください。

「まずは見学！」QRコードからアクセスしてください → → →

